

2004年11月16日

京都大学未来フォーラム（第7回）を開催

京都大学では、恒例となった未来フォーラムの第7回を時計台記念館・百周年記念ホールで開催しました。今回は本学理学部卒業生で本学名誉教授の河合雅雄氏に「霊長類学事始」をテーマに講演いただきました。河合氏は、戦後、欧米にかわって、日本で霊長類の社会を対象に全く新しい装いで登場した霊長類学の学問分野樹立の経験談を語った後、霊長類学の基本はフィールドワークでの固体識別、長期観察などによる総合認識が重要であることを強調されました。最後に、スライドを使いながら、サルの群れに仲間として受け入れてもらい、一緒に生活をしながら長期観察する苦労話、サルの生活の様子や群れの行動をユーモアもまじえ語られました。約150名の参加者はメモを取りながら真剣に聞き入り、また、学生等から仲間として受け入れてもらう方法などフィールドワークの研究手法について質問があり、有意義なフォーラムとなりました。

